

## 【令和4年度「公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等」表彰】

この表彰は、公認スポーツ指導者資格登録認定後、通算15年以上にわたりスポーツの指導者育成及び組織化等に尽力し、特に顕著な功績があった者を表彰し、その巧みに報いるとともに、将来のスポーツ界を担う若手指導者の奨励を通じて、今後における公認スポーツ指導者制度の一層の発展に資することを目的としています。

このたび、県から、4名の方々が受賞されました。

### < 受賞者 >

馬場 昭江（仙北市 カヌーコーチ4）

永年にわたりカヌースラローム競技の競技力向上及び普及発展に積極的に取り組んでいる。特に競技力向上については、少子高齢化の中、人材の発掘に力を入れ、幼少期から指導にあたり、オリンピック選手をはじめとする数多くの日本代表選手を本県から輩出。この功績は、本県のみならず、日本カヌースラローム競技の発展においても誠に顕著である。

伊藤 光長（秋田市 ライフル射撃コーチ3）

2005年から県ライフル射撃協会の理事長、事務局長、会長を歴任し、組織運営と発展に尽力している。また、指導者として、2010年に秋田県公安委員会から射撃指導員の資格を取得後、小・中・高・一般の各カテゴリーに対して献身的に射撃指導を行っており、競技力向上や普及に努めている。

今野 昌雄（大山市 山岳コーチ1）

永年にわたり県山岳・スポーツクライミング連盟の運営に携わり、副会長や顧問を歴任し、競技力向上や選手育成、組織の発展に尽力した。また、高校教員在職中は、国民体育大会や全国高等学校総合体育大会の山岳・登山競技に数多くのチームや選手を輩出するなど、指導者としての手腕を大いに発揮した功績は誠に顕著である。

中野 舞（秋田市 新体操コーチ3）

2002年から新体操競技の普及・強化のため、ジュニアクラブで新体操の指導にあたっている。指導者として常に学ぶ意欲を持ち続け、日本体操協会強化選手の海外遠征に帯同し、最先端の指導方法を学び、実践している。また、これまで指導してきた選手の2名がフェアリージャオパンに選出されるなど、その手腕を大いに発揮している。